



第51期 株主通信 2008.2.1 ~ 2009.1.31

株主の皆様へ



代表取締役社長 渡辺 亮

株主の皆様におかれましては、日ごろより格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した世界規模での信用収縮の影響を受け、景気が大幅に後退し企業収益の悪化が鮮明になってまいりました。

当ディスプレイ業界の事業環境につきましては、企業の設備投資及び販促関連投資が減少し、また、個人消費の低迷の影響を受けて小売業の店舗投資も急速に減少するなど、非常に厳しい状況が続きました。

このような状況のもと当グループは、コストダウン・経費削減を徹底し、収益力の強化をはかると共に、お客様からご信頼いただけるサービスの提供を目指した取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、期の後半からは予想を超えた景況感の悪化に伴い受注が減少したことにより、売上高は伸び悩む結果となりました。この結果、当連結会計年度の売上高は611億54百万円となりました。

利益面につきましては、コストダウン・経費削減が一定の効果をもたらしたため、当連結会計年度の営業利益は7億40百万円、経常利益は6億97百万円となりました。しかしながら、株式相場の下落による投資有価証券評価損等の特別損失及び将来減算一時差異の回収可能性に基づく繰延税金資産の取崩しにより法人税等調整額を計上したため、当連結会計年度の当期純損失は13億27百万円となりました。

連結決算ハイライト

また、当連結会計年度の受注高は605億38百万円となりました。

なお、当期純損失を計上したこと及び今後の経営環境等を考慮し、当期の期末配当金につきましては、誠に遺憾ではありますが、無配とさせていただきます。

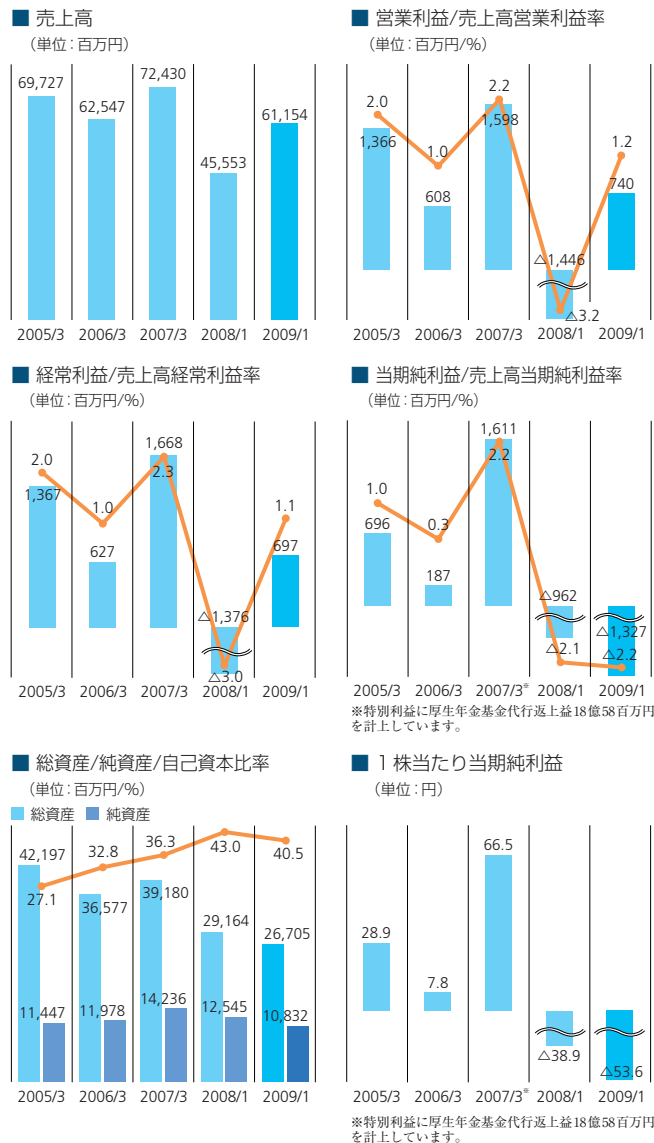
今後の見通しにつきましては、未だ収束の兆しが見えない世界的な金融危機問題など、不安要素は払拭されず、先行きに不透明感が強まっております。

当グループを取り巻く環境につきましては、企業の設備投資及び販促投資の減少、並びに個人消費の低迷による小売業の店舗投資抑制等の影響を受け、受注競争は一段と激しさを増すことが予想され、非常に厳しい状況が続くものと考えられます。

当グループといたしましては、さらなるコストダウン及び経費削減を徹底し、収益力の強化をはかると共に、「チームTANSEI」をスローガンに掲げ、営業・制作・デザイン部門の連携強化をはかり、高品質かつ安心・安全な空間の創造に努めることで、お客様から継続的に高い信頼をお寄せいただける企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年4月



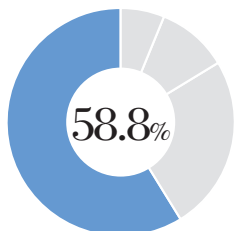
※ 第50期 (2008/1) は、2007年4月1日から2008年1月31日までの10ヵ月決算となっております。

セグメント別概況

商業施設分野



スワロフスキー心齋橋直営店



連結売上高

359億88百万円

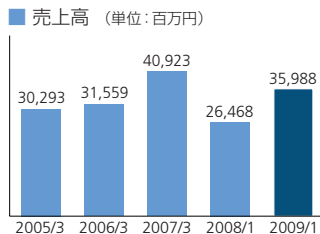
連結営業利益

27億00百万円

商業施設分野では、「みらい長崎 COCOWALK」の新装工事等、大型のショッピングセンターを手掛けましたが、受注競争の激化に加え、百貨店等の店舗投資抑制の影響を受け、大型店市場の売上は低調に推移しました。また、専門店市場につきましても、「紀ノ国屋インターナショナル」の新装工事等を手掛けたものの、小売業の出店が減少し、売上は低調に推移しました。この結果、商業施設分野の売上高は359億88百万円、営業利益は27億円となりました。



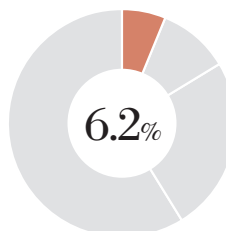
みらい長崎 COCOWALK



短期展示施設分野



バーゼルワールド 2008 SEIKO Stand



連結売上高

37億72百万円

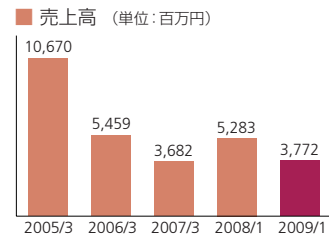
連結営業利益

1億17百万円

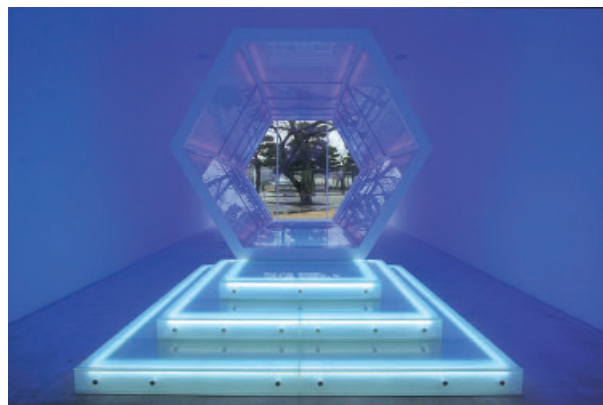
短期展示施設分野では、「CEATEC JAPAN KDDIブース」等の展示工事を手掛けたものの企業の販促関連投資抑制の影響を受け、展示会市場の売上は低調に推移しました。また、「北海道洞爺湖サミット環境ショーケース」等の展示工事を手掛けたものの、イベント市場の売上も低調に推移しました。この結果、短期展示施設分野の売上高は37億72百万円、営業利益は1億17百万円となりました。



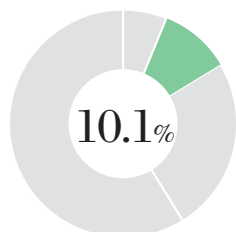
横浜みなとみらい クイーンズスクエア シンギングツリー 2008



恒久展示施設分野



十和田市現代美術館



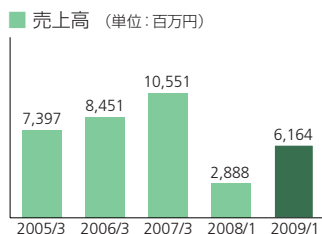
連結売上高

61億64百万円

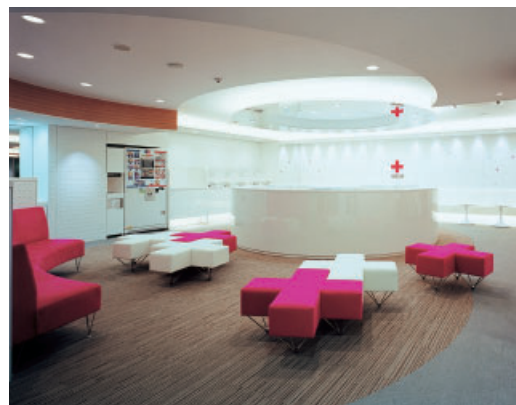
連結営業利益

1億53百万円

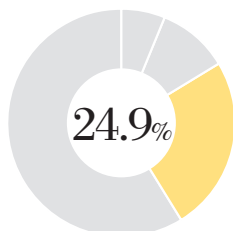
恒久展示施設分野では、「國學院大學伝統文化リサーチセンター資料館」等の展示工事を手掛け、博物館市場の売上は堅調に推移しました。ショールーム市場の売上は、「キヤノンデジタルハウス名古屋」等の企業ショールームの新装工事を手掛けたものの、企業の設備投資抑制の影響を受け、低調に推移しました。この結果、恒久展示施設分野の売上高は61億64百万円、営業利益は1億53百万円となりました。

南九州ココロラボリング
第二展示施設

その他の分野



東京都赤十字血液センター渋谷八子前献血ルーム



連結売上高

152億28百万円

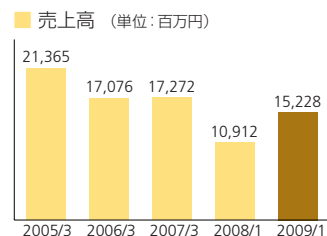
連結営業利益

14億30百万円

その他の分野では、「キッサニア甲子園」の新装工事を手掛けるなど、その他施設市場の売上は堅調に推移しました。アミューズメント施設市場については「ラウンドワンプロジェクト」等を手掛けたものの、総じて店舗投資に弱さが見られ、売上は低調に推移しました。この結果、その他の分野の売上高は152億28百万円、営業利益は14億30百万円となりました。



フロンテッジオフィス



スペシャリティ

地域とのコラボレーションでつくりあげた“手づく



りと冒険”の体験型児童館・福井県こども家族館

2008年8月1日、福井県おおい町に「福井県こども家族館」がオープンしました。同施設は、「手づくりと冒険」をコンセプトにした体験型施設で、「エントランスゾーン」「工房ゾーン」「交流ゾーン」「あそび探検ゾーン」「屋外ゾーン」で構成されています。

この施設の基本理念は、親子や家族と一緒に体験できること。家族が協力することでスタートする展示物や、お互いの食べ物の好みを当てるクイズなど、存在そのものが家族のコミュニケーションを促す展示が施設のあちらこちに散りばめられています。また、人気を集めている「あそび探検ゾーン」は、「こども探検号」が小浜湾にたどり着いたという想定のもと、世界各国から集めた積荷や民族衣装などを五感で体験する「不思議探検エリア」や、白と青の無数のボールで埋めつくされた「ボールプール」などが設置されたゾーン。あえて遊具に関する解説を施さないことで、子どもたちが「自ら遊び方を考える」という新たな“遊び場”を提供しています。

業務の推進にあたっては、設計の早い段階から施設のあり方や運営の方法などについて当社が蓄積しているノウハウを提供してきました。また、地元の間伐材を活用したり、地元協力会社を中心に工事を行なうなど、地域に根ざした施設づくりにも尽力してきました。ちなみに、県より別途発注された業務の施工者の選定にあたっては、施設としての水準を保つために当社スタッフが審査員として参加。このことは当社の技術水準に対する評価の現れであるとともに、9年間にわたる営業姿勢そのものが高く評価されたためだと自負しています。

このプロジェクトは、県のご担当者や専門家の方々とのコラボレーションを大切にしながら進めてきました。途中、デザイン性と安全性との調整、建築物に関する法規制への対応に苦労することもありましたが、地域の未来をつくる子どもとその家族に喜ばれる施設を完成したことは、大きな達成感につながっています。また、安全面をはじめ新たに発見・構築したノウハウも多く、今後の事業展開にも大いに貢献できるプロジェクトになりました。



プロジェクトにたずさわった文化空間事業部の面々

(前列左から)	開発3部	山崎 鋭児
	テクニカルデザイン部	杉山 優子
	デザイン1部	西山 健一
(後列左から)	制作推進2部	島谷 雅人
	事業企画部	田村 和彦
	デザイン統括部	和田 明彦
	デザイン2部	小杉 重信
	開発3部	幸 雅文
	プロジェクト推進部	馬 晃清

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 2008年1月31日	当連結会計年度 2009年1月31日	増減額	科 目	前連結会計年度 2008年1月31日	当連結会計年度 2009年1月31日	増減額
(資産の部)	(29,164)	(26,705)	(△2,458)	(負債の部)	(16,619)	(15,872)	(△746)
流動資産	20,550	18,903	△1,646	流動負債	15,582	14,401	△1,180
① 現金預金	4,846	6,621	1,774	支払手形・工事未払金等	8,115	6,385	△1,729
受取手形・完成工事未収入金等	9,495	6,491	△3,003	短期借入金	3,700	3,700	-
未成工事支出金等	5,120	4,756	△364	未払法人税等	36	85	48
繰延税金資産	786	641	△145	未成工事受入金	1,817	1,801	△15
その他	328	421	93	賞与引当金	655	550	△105
貸倒引当金	△26	△28	△1	役員賞与引当金	6	-	△6
固定資産	8,613	7,801	△812	完成工事補償引当金	82	83	1
有形固定資産	3,455	3,381	△73	工事損失引当金	158	140	△17
建物・構築物	1,698	1,678	△20	債務保証損失引当金	-	187	187
機械・運搬具・工具器具備品	585	658	73	その他	1,010	1,467	457
土地	2,749	2,719	△30	固定負債	1,037	1,470	433
減価償却累計額	△1,579	△1,675	△95	社債	300	300	-
無形固定資産	177	202	24	退職給付引当金	34	37	3
投資その他の資産	4,980	4,217	△763	役員退職慰労引当金	147	137	△10
投資有価証券	2,378	1,522	△855	繰延税金負債	22	575	553
繰延税金資産	399	33	△365	その他	533	420	△112
敷金保証金	827	839	11	②(純資産の部)	(12,545)	(10,832)	(△1,712)
その他	1,671	2,140	468	株主資本	12,229	10,690	△1,538
貸倒引当金	△295	△318	△22	資本金	4,026	4,026	-
資産合計	29,164	26,705	△2,458	資本剰余金	4,025	4,024	△0
				利益剰余金	4,215	2,677	△1,538
				自己株式	△37	△37	△0
				評価・換算差額等	306	131	△174
				その他有価証券評価差額金	292	139	△152
				為替換算調整勘定	14	△7	△22
				少数株主持分	8	9	1
				負債純資産合計	29,164	26,705	△2,458

※ 決算期変更に伴い、前連結会計年度は2007年4月1日から2008年1月31日までの10ヶ月決算となっております。

Point-①

売上債権である受取手形・完成工事未収入金等の回収が進んだことにより、現金預金の残高は前連結会計年度に比べ17億74百万円増加しました。

Point-②

当期純損失の計上等の結果、当連結会計年度の純資産合計は17億12百万円減少いたしました。総資産の圧縮効果により自己資本比率は40.5%となりました。

Consolidated Financial Statements

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額
	自 2007年4月 1日 至 2008年1月31日	自 2008年2月 1日 至 2009年1月31日	
売上高	45,553	61,154	15,601
売上原価	39,878	52,674	12,795
売上総利益	5,674	8,480	2,805
販売費及び一般管理費	7,120	7,739	618
営業利益又は営業損失 (△)	△ 1,446	740	2,186
営業外収益	221	235	14
営業外費用	150	278	127
経常利益又は経常損失 (△)	△ 1,376	697	2,073
特別利益	71	23	△ 47
特別損失	89	799	709
税金等調整前当期純損失 (△)	△ 1,393	△ 77	1,315
法人税、住民税及び事業税	52	89	36
法人税等調整額	△ 482	1,158	1,641
少数株主利益	—	1	1
少数株主損失	0	—	△ 0
③ 当期純損失 (△)	△ 962	△ 1,327	△ 364

※ 決算期変更に伴い、前連結会計年度は2007年4月1日から2008年1月31日までの10ヶ月決算となっております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額
	自 2007年4月 1日 至 2008年1月31日	自 2008年2月 1日 至 2009年1月31日	
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,010	2,571	1,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 727	△ 561	166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 158	△ 209	△ 51
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△ 25	△ 28
現金及び現金同等物の増加額	127	1,774	1,647
現金及び現金同等物の期首残高	4,718	4,846	127
現金及び現金同等物の期末残高	4,846	6,621	1,774

※ 決算期変更に伴い、前連結会計年度は2007年4月1日から2008年1月31日までの10ヶ月決算となっております。

Point-③

コストダウン・経費削減の徹底等により、営業利益および経常利益は改善したものの、投資有価証券評価損および繰延税金資産の取崩しによる税金費用等を計上したため、当期純利益は前連結会計年度に比べ3億64百万円減少しました。

Point-④

売上債権である受取手形・完成工事未収入金等の回収が進み、営業活動によるキャッシュ・フローは25億71百万円の収入となりました。

連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度 (自 2008年2月1日 至 2009年1月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主 資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2008年1月31日残高	4,026	4,025	4,215	△ 37	12,229	292	14	306	8	12,545
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 210		△ 210					△ 210
当期純損失			△ 1,327		△ 1,327					△ 1,327
自己株式の取得				△ 2	△ 2					△ 2
自己株式の処分		△ 0	△ 0	1	0					0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)						△ 152	△ 22	△ 174	1	△ 173
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 0	△ 1,538	△ 0	△ 1,538	△ 152	△ 22	△ 174	1	△ 1,712
2009年1月31日残高	4,026	4,024	2,677	△ 37	10,690	139	△ 7	131	9	10,832

株式の状況/会社概要

(2009年1月31日現在)

Stock Information /
Corporate Data

株式の状況

株式の総数

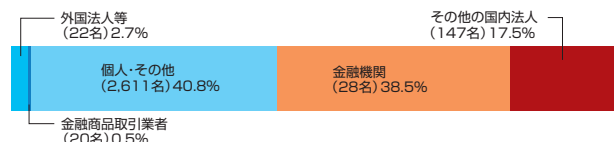
発行可能株式総数	96,000,000株
発行済株式総数	24,832,857株

株主数 2,828名

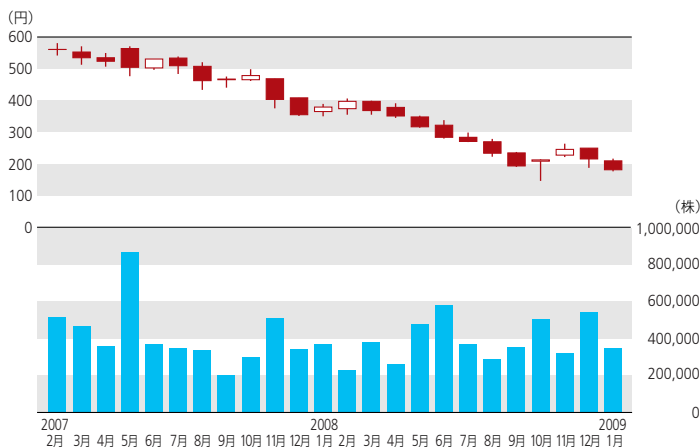
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
丹青社取引先持株会	1,476千株	5.9%
丹青社従業員持株会	1,366	5.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,086	4.4
株式会社みずほ銀行	1,078	4.4
株式会社三井住友銀行	1,028	4.2
第一生命保険相互会社	978	4.0
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	964	3.9
日本生命保険相互会社	926	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	885	3.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	722	2.9

所有者別状況(株式数構成比)



株価



会社概要

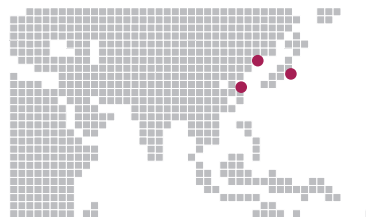
商号	株式会社丹青社
設立	1959年12月25日
資本金	4,026,750,657円
上場	東京証券取引所 市場第一部
従業員数	950名(連結1,399名)
主要事業内容	国内外見本市、博覧会、展覧会、百貨店、ショッピングセンター、専門店、一般小売店、ホテル、レストラン、ショールーム、オフィス、博物館、科学館等の調査、企画、設計、施工、監理、運営管理

役員(2009年4月23日現在)

代表取締役社長	渡辺 亮
取締役専務執行役員	青田 嘉光
取締役常務執行役員	鈴木 義隆 (経営管理担当、株式会社TmG代表取締役社長)
取締役常務執行役員	北原 聰 (制作担当)
取締役常務執行役員	伊藤 芳晃 (営業担当、北京丹青嘉輝建築裝飾有限公司董事長、丹青創藝設計諮詢(上海)有限公司董事長)
取締役執行役員	高橋 康夫 (デザイン担当、リテールクリエイションセンター長)
常勤監査役	重政 俊夫
監査役	余田 幹男
監査役	荒川 洋
監査役	山田 博重
執行役員	高橋 貴志 (商空間事業部副事業部長)
執行役員	森 俊憲 (文化空間事業部長)
執行役員	橋本 俊朗 (ストアエンジニアリング事業部長)
執行役員	伊藤 文雄 (ストアエンジニアリング事業部副事業部長)
執行役員	家入 幸弘 (エリア事業部長)
執行役員	朝田 賢治 (商空間事業部長)
執行役員	小林 統 (IMC事業部長)
執行役員	洪 恒夫 (クリエイティブコア・IDSセンター長)

事業所

本社	〒110-8549 東京都台東区上野5丁目2番2号 Tel. 03(3836)7221(代表) Fax. 03(3836)1380(代表)
札幌支店	〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西3丁目3番地 札幌MNビル6F Tel. 011(271)0725 Fax. 011(231)1583
東北支店	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2丁目1番7号 本町奥田ビル9F Tel. 022(264)0764 Fax. 022(261)7012
名古屋支店	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目24番17号 日本生命栄町ビル9F Tel. 052(957)7531 Fax. 052(957)7530
関西支店	〒530-0027 大阪府大阪市北区堂山町3番3号 日本生命梅田ビル9F Tel. 06(6313)5200 Fax. 06(6313)5099
九州支店	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目25番24号 八百治ビル5F Tel. 092(472)1901 Fax. 092(471)7870
沖縄支店	〒900-0033 沖縄県那覇市久米2丁目4番14号 JB・NAHAビル3F Tel. 098(951)1115 Fax. 098(951)1116



連結子会社

株式会社丹青TDC	〒110-0005 東京都台東区上野5丁目2番6号 Tel. 03(3836)7461 Fax. 03(3836)0615
株式会社丹青ビジネス	〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 植木ビル6F Tel. 03(3836)7463 Fax. 03(3832)3225
株式会社丹青研究所	〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 植木ビル7F Tel. 03(3836)7600 Fax. 03(3836)7620
株式会社丹青ディスプレイ	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町31番14号 岡三桜丘ビル5F Tel. 03(3770)6851 Fax. 03(3770)6845
株式会社TmG	〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目2番17号 下島ビル8F Tel. 03(5537)7760 Fax. 03(5537)7761
株式会社丹青モールマネジメント	〒110-0005 東京都台東区上野5丁目2番2号 Tel. 03(3836)8100 Fax. 03(3836)7699
株式会社丹青ヒューマネット	〒110-0005 東京都台東区上野5丁目6番11号 リベラ秋葉原9F Tel. 03(3836)8200 Fax. 03(3836)8280
株式会社ティーアンドティー	〒110-0005 東京都台東区上野5丁目8番5号 CP10ビル6F Tel. 03(3836)8600 Fax. 03(3836)8601
株式会社丹青アセットマネジメント	〒110-0005 東京都台東区上野5丁目8番5号 CP10ビル6F Tel. 03(3836)7333 Fax. 03(3836)7363
丹青創藝設計諮詢(上海)有限公司	〒200030 上海市零陵路899号飛洲国際広場18階A座 Tel. +86-21-6486-1817 Fax. +86-21-6335-0867
北京丹青嘉輝建築裝飾有限公司	〒100027 北京市朝陽区東三環北路3号 幸福大廈A座1508室 Tel. +86-10-6463-5631 Fax. +86-10-6463-9531

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
配当金受領株主確定日	期末配当1月31日 中間配当7月31日
定時株主総会	毎年4月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel.0120-232-7111(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.tanseisha.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

HPのご案内

<http://www.tanseisha.co.jp/>



当社のHPでは最新のIRニュースや株式情報をご覧いただけます。
また、広報誌のHP「tansei.net」では、空間・建築に関する様々な情報を発信しています。ぜひアクセスしてみてください。

社名の由来 — 「丹青」とは、中国から伝わった言葉であり、古くは画家のことを指した。唐の詩人、杜甫の七言古詩にも使われている。

丹青知らず、老いの将に至らんとするを。富貴は我れに於て浮雲の如し。(杜甫「丹青引、曹將軍霸に贈る」)

絵を描くことに熱中して歳をとることも忘れ、世の中の富貴、栄華などは、浮雲のように頼りないものと思っている。

株主向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9743

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、「いいかぶ」と4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

 Tanseisha 株式会社 丹青社

〒110-8549 東京都台東区上野5丁目2番2号
Tel. 03(3836)7221(代表) Fax. 03(3836)1380(代表)

撮影者：フォワードストローク、山田 誠良、エスエス企画、ナカサ&パートナーズ、三富 純、岩崎 マミ、石井 紀久、新 良太、柳内 正義